

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



| | |
|-----------------|--|
| 1. 事故・ヒヤリハットの別 | 事故 |
| 2. 体験した事例の名称 | 救助訓練での煙道通過中の負傷事故について |
| 3. 体験した事例の中心的要素 | ①環境的要因：空気呼吸器の完全装備で、視野の制限。装備の重量の荷重。滑るはずの床面が滑らなかったことによる憶測判断。 ②動作的要因：冬季の身体に対する影響。低姿勢での負荷。 ①と②の総合的要因により、両手を滑らしながらほふく前進中、急に煙道内床面のすべりがなくなったことで、つかえて左肩に急激な負荷がかかり、左肩を負傷(左肩臼蓋骨折)した。 |
| 4. 体験した事例の原因・理由 | 救助競技会のため、同様の訓練を10日間程度継続していたものですが、煙道を通しようとした際、突然右手が滑らずつかえてしまったこと、それと、継続的な訓練により「慣れ」という気の緩みがあった。 |

【体験した事例の直接的な原因について】



| | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 体験した事例の直接的な原因 | 状況判断に問題があった。 行動の意志決定に問題があった。 |
|------------------|---------------------------------|

【体験した事例について】



| | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 発生日時 | 平成 20年 2月 14日 午後 3時頃 |
| 2. 発生した当時の天候 | 曇 |
| 3. 発生した活動現場 | 屋外： |
| 4. 体験した事例の種類 | 回答者が、自分自身で負傷した。 |
| 5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度） | 軽傷 |
| 6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか） | その他：低姿勢をするために両腕で支持しながら進行していたが、つかえた。 |
| 7. 事例体験時の活動 | 演習訓練 [救助（大会に向けた訓練）] |
| 8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか | 進入・退出、その他：横坑での煙道通過訓練 |
| 9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。 | 初めて体験した。 |

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

| | |
|----------------------|--|
| ○当事者A | 年齢[30]歳、勤続年数[5]年、現場経験年数[5]年、階級[消防士]、同様の活動 [頻繁]、任務 [隊員] |
| ○当事者B | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| ○当事者C | 年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動 []、任務 [] |
| その他 (当事者が4人以上の場合) | |

11. 事例発生の経過。

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|------|-------|--------------------------------------|----------|
| 経過1 | A | 煙道通過中、低姿勢のまま両腕で支持していた手が突如滑らなくなりつかえた。 | |
| 経過2 | | | |
| 経過3 | | | |
| 経過4 | | | |
| 経過5 | | | |
| 経過6 | | | |
| 経過7 | | | |
| 経過8 | | | |
| 経過9 | | | |
| 経過10 | | | |

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。その他：数回の訓練により慣れが生じた。煙道床面の点検を怠った。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

| | |
|---------------------------------------|-----|
| ・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。 | いいえ |
| ・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。 | いいえ |

b. 注意力が欠如していた

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。 | はい |
| ・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。 | いいえ |
| ・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。 | いいえ |

c. 経験・知識が不足していた。

| | |
|----------------------------|-----|
| ・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。 | いいえ |
| ・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。 | いいえ |
| ・活動に対する経験が不足していた。 | いいえ |

d. 心身の不調があった

| | |
|-----------|-----|
| ・体調が悪かった。 | いいえ |
| ・悩み事があった。 | いいえ |

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

| | |
|---------------------|-----|
| ・装備・資機材自体に問題があった。 | いいえ |
| ・装備・資機材の使用方法が誤っていた。 | いいえ |
| ・装備・資機材の対処能力を超えていた。 | いいえ |
| ・必要とする装備・資機材がなかった。 | いいえ |

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

| | |
|---------------------------------|-----|
| ・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |
| ・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。 | いいえ |

g. 行動しにくい環境だった。

| | |
|------------------|-----|
| ・狭隘な場所であった。 | はい |
| ・暑かった（寒かった）。 | はい |
| ・野次馬が多かった。 | いいえ |
| ・現場周辺の地理に不案内だった。 | いいえ |

h. 足場が悪かった。

| | |
|------------------|-----|
| ・足元が躓いたり滑りやすかった。 | いいえ |
| ・足元の強度が不足していた。 | いいえ |

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

| | |
|-------------------------------------|-----|
| ・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。） | いいえ |
| ・指示内容に誤り・偏りがあった。 | いいえ |
| ・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。） | いいえ |

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

| | |
|----------------|-----|
| ・隊員の連携が不十分だった。 | いいえ |
| ・隊員が不足していた。 | いいえ |

○その他

l. その他の理由があった。

| | |
|-----|--|
| いいえ | |
|-----|--|

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

通過する前に煙道内に異常がないか点検を行い、安全管理者を設置する。

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

訓練前には、入念に準備体操をおこなうこと。

○指揮・情報伝達の対策について

煙道通過イメージ図

